

『摂南大学教育学研究』第12号発刊にあたって

『摂南大学教育学研究』編集委員会

委員長 吉田 佐治子

この度、『摂南大学教育学研究』(Bulletin of Educational Research of Setsunan University)第12号が完成いたしましたので、発刊いたします。

本研究会は、摂南大学教職支援センターの教員及び教職課程を履修した卒業生を中心に、教育の理論および実践的交流誌として発刊するもので、教職支援センターの研究事業として12年の歳月を刻むこととなります。

本年度は、国内外で大きな出来事や変化がありました。その中には、こどもに関わるものも多くあり、私たちは大きな衝撃を受けました。国内においても、例えば「こどもの貧困」に関する報道を目にすることが多くなってきています。このような問題に対して、鍵のひとつとなるのは、やはり教育なのではないかと思えます。

そのような中、本号の準備しているさなかである2015年12月に、中央教育審議会から3つの答申がなされました。今、教育や学校のあり方、教員養成のあり方が大きく変わろうとしています。このような時だからこそ、教育とは何か、学校とは何か、教員とは何かについて、問い直してみることも必要ではないかと思えます。

本学の発展と共に教職課程の教育内容が益々充実していくための一助となるために、この『摂南大学教育学研究』が役立つことを願っています。

2016年1月31日